

平成26年度 置戸町行政評価委員会報告

(平成25年度分)

置戸町行政評価委員会

置戸町行政評価委員会報告

1. はじめに

置戸町では、行政改革大綱に基づく行政改革の取り組みの一つとして、平成16年度に行政評価システムを導入しました。この行政評価では、行政の内部評価と町民による外部評価を取り入れ、評価結果を町民と行政とが共有することで協働のまちづくりを目指すとしてきました。

また、まちづくり基本条例にあっては「町民のための行政」として行政評価が条文化され、第5次置戸町総合計画でも「町民と行政による協働の推進」を実現することがうたわれ、住民参加が求められています。

今年度の行政評価は、委員が新たに委嘱され、2年任期の1年目の評価となります。多くの委員が初年度ということもあり、委員会の設置目的、役割を考えながら各種事務事業について議論を深めました。

本委員会において開催された6回の会議から、委員会としての意見を以下のとおり取りまとめ報告いたします。

2. 委員会の開催状況

平成26年度の行政評価委員会は、次のとおり6回開催しました。

- (1) 第1回委員会 ～ 平成26年 8月27日（水）
 - ・ 委嘱状の交付
 - ・ 委員長及び副委員長の選出
 - ・ 行政評価の取り組み経過、委員会の設置目的と役割の説明
 - ・ 評価方法の確認と評価事務事業の選定について説明

- (2) 第2回委員会 ～ 平成26年 9月12日（金）
 - ・ 置戸町簡易水道統合事業事前評価（施設整備課）に係る評価作業
 - ・ 選定した事務事業の確認及び評価作業

- (3) 第3回委員会 ～ 平成26年10月 3日（金）
 - ・ 置戸町簡易水道統合事業事前評価の修正に係る答申の確認
 - ・ 前回の評価した事務事業の評価内容の確認及び評価作業

(4) 第4回委員会 ～ 平成26年10月22日(水)

- ・前回の評価した事務事業の評価内容の確認及び評価作業

(5) 第5回委員会 ～ 平成26年11月7日(金)

- ・前回の評価した事務事業の評価内容の確認及び評価作業

(6) 第6回委員会 ～ 平成26年11月20日(木)

- ・前回の評価した事務事業の評価内容の確認
- ・主管課・内部評価と外部評価で異なる結果となった事務事業の担当部局との意見交換
- ・平成26年度置戸町行政評価委員会報告書(平成25年度分)の確認

3. 評価方法について

今年度の評価事務事業の選定にあたっては、262件の行政評価調書の中から、26件を評価候補としました。そのうち2件の事務事業について、評価予定以外に特に内容を知りたいものとして資料の提出を求め、事業内容等について理解することができたことから評価の対象から除外することとし、最終的に24件の事務事業について評価を行いました。

また、事務事業を選定する際に、過去に評価対象となった事務事業についてできるだけ選定しないよう心掛けましたが、新たに委嘱された委員も多いことから、事務事業の内容を聞いたうえで議論し、再評価したものもあります。

評価については、平成25年度分の事務事業に対する委員会としての評価を簡潔に記載しました。主管課評価が適正であると判断し、同じ評価となった事務事業については、委員会としての参考意見を記載し、主管課評価と異なる評価となった事務事業については、その理由を記載しています。

主管課評価と異なる評価となった事務事業については、担当課の課長とも意見交換を行い、事務事業内容の理解を深めたうえでの評価となるよう努めました。

4. 評価内容報告

日本創成会議(人口減少問題検討分科会)は、2040年に少子化と人口流出によって、若い女性人口が半分以下になり、消滅可能性のある自治体が896になる推計を発表しました。置戸町も-61.8%と半分以下の試算が出されています。

また、北海道の地域経済は、依然として都市圏と比べて回復が遅れていて、エネルギー価格の上昇や消費低迷により、ますます厳しさを増している中、国は地方創生法

案を掲げ、地域創生を最重要課題としました。

置戸町が、このまま存続していくためにも、事務事業の見直しをはじめ、施策や事業の優先化・重点化を厳しく精査していくことが必要であると考えます。

今回、24件の事務事業について評価を行いました。評価を進めるにあたっては財政効率だけでなく、置戸町や町民に必要な事業として、より良く進められているかを意識し評価しました。

本委員会の評価結果については、24件中21件の事務事業が概ね主管課・内部評価のとおりであると判断し、3件の事務事業が主管課・内部評価と異なる結果となりました。主管課・内部評価のとおりと判断した事務事業についても、評価作業の中で多くの議論が交わされ、評価した事業がより良く進められていくように参考意見として付記しました。

これらの意見が行政内部で議論され、本年度実施の事務事業や平成27年度予算に反映されることを期待します。

本年度の評価作業を終え、これまでの行政評価委員会としての役割を踏まえ、この委員会の活動が、第5次置戸町総合計画が目指すまちの将来像である「自然を愛し、人にやさしいまちづくり」の実現に役立つことを願います。

5. 各委員の感想

それぞれの委員から、本年度の行政評価委員会の評価作業等について、感想や意見を取りまとめましたので付記します。

■ 行政評価調書の構成・文章の表現について

- ・事務事業の内容について、わかりやすい部分とわかりづらい部分があり、評価の際の添付資料と説明を聞くことで内容がわかりやすくなった。
- ・事業内容に専門用語で記載されているもので理解できない言葉もあった。
- ・わからない点も多くあったので、事前に質問するべきだった。
- ・理解しにくい事業内容も多くあった。

■ 評価対象数と委員会の開催回数について

- ・評価対象数、委員会開催回数は適当だと思う。
- ・評価対象数は1人3件程度と適当だと思うが、会議にかかる時間が長いため、開催回数をあと1、2回増やしても良いと思う。
- ・評価対象数が多くて選定が大変だったので、類似した事業内容について整理し、わかりやすくした方が良い。

■ 事務事業の選定・評価方法について

- ・委員がそれぞれ気になる事業を選定するので良いと思う。意見を出せるのでとても良い。
- ・初めての作業でどのように選べば良いか迷い、関心のある事業だけを選んでしまった。
- ・行政からの事業選定が数件あっても良い。
- ・評価対象数が多く選定するのは大変だった。
- ・全く関わりのない事業は、会議で話しを聞いてもほとんど理解できなかった。
- ・委員の誰がどの課から選ぶかを決めた方が、選定しやすいように思う。
- ・過去に数回、評価された事業についての改善がみられていない。

■ 評価作業を実施して

- ・今回評価したそれぞれの参考意見を活かしてほしい。
- ・今まで行政について関心が薄かったので、行政のことを考える良いきっかけになった。行政に対して見る目が変わった。
- ・短期集中で終わることも良いと思うが、駆け足で会議が進んだようにも思えた。
- ・開催時期は良いと思う。
- ・行政の仕事を少しだけ知ることができた。

■ 平成25年度分 置戸町行政評価委員会評価（外部評価）結果

※ 主管課・内部評価と異なる評価結果となった事務事業については、それぞれの評価内容についても記載しています。

1 No.001

事務事業名	特産物宣伝事業（地域振興事業） 町づくり企画課
主管課評価	<u>「このまま継続」</u> 特産品を活用しての宣伝効果は大きい。昨年度、事業内容と事業名とが合致していない旨の外部評価を受けたが、事業規模を大幅に拡大した宣伝活動は予定していないことから、現行予算の範囲内で関係課と連携を図りながら、より効果的な特産品PRを今後も継続していく。
内部評価	<u>「このまま継続」</u> 主管課評価に同じ
外部評価	<u>「その他（事業名の変更）」</u> 昨年度の行政評価委員会の意見同様、事業内容が本来の特産物の宣伝になっていない。名称が紛らわしいので事業名を変更すべき。
理由	本事業の評価に直接関係ないが、特産物宣伝事業という名称に沿った事業が必要。置戸町の特産物がどこで販売しているか分からないことも多くあるため、一括して取り扱う販売施設の確立を望む。

2 No.014

事務事業名	町有施設の維持管理（町有住宅） 総務課
評価	<u>「このまま継続」（主管課・内部評価のとおり）</u> 一定程度の教員や職員等の住宅を確保することは、民間の住宅事情が良くない本町において必要であり継続すべき。
参考意見	本事業の評価に直接関係ないが、本町に居住を希望しても入居することができる住宅が少ないことから住宅の整備を望む。また、不動産業者もなく空き家住宅等の状況がわからないため、空き家情報の窓口設置等相談体制の確立を望む。

3. 4. 5 No.018, No.019, No.020

事務事業名	交通安全対策事業 置戸町交通安全推進事業補助金 置戸町交通安全協会運営事業補助金	} 町民生活課
評価	<u>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</u> 交通安全の啓蒙・啓発等の対策は、町民の交通安全意識の高揚を図るとともに交通事故防止に寄与することから継続すべき。	
参考意見	目的の同じ事業について、効果や評価が同じ内容であることから、行政評価のやり方、区分方法等の見直しを考えてはどうか。	

6 No.021

事務事業名	住民活動 町民生活課	
評価	<u>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</u> 花いっぱい運動をはじめ、町民の主体的な活動は、コミュニティ活動を推進するうえで必要なことから、今後も継続すべき。	
参考意見	花いっぱい共励会の出展者の減少、固定化が懸念されることから、参加意欲の工夫を望む。	

7. 8 No.022, No.023

事務事業名	置戸町自治連絡協議会交付金 各地区自治連合会交付金	} 町民生活課
評価	<u>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</u> コミュニティ活動の推進ため、コミュニティの形成及び組織体制の充実が必要であることから、今後も継続すべき。	
参考意見	人口減少による規模にあった効果的な組織づくりの検討が必要としているため、今後の動向を見守る。	

9

No.098

事務事業名	消費者行政（消費生活） 産業振興課
主管課評価	<u>「このまま継続」</u> 本町において相談件数は少ないものの、悪徳商法等は年々複雑化してきており、その問題解決には専門的な知識が必要であるため、担当者のスキルアップを図りながら、一方で未然防止のための啓蒙を継続する。
内部評価	<u>「このまま継続」</u> 主管課評価に同じ
外部評価	<u>「内容を変更し継続（予算・事業内容：拡大）」</u> 悪質商法の手口が多様化し、高齢者が増大していく今日、被害に遭わないよう、更なる周知活動を拡大してはどうか。
理由	「自分は被害に遭わない」等の思いから、消費者行政への関心が薄い方が多いというが、全国的に相談件数は増大している。日頃から消費者行政に対して関心を持ってもらうことも重要であることから、各種会議やイベント等町民の集まる場所で被害対策等の映像を流し啓発活動を行ってみてはどうか。

10

No.101

事務事業名	交流促進センター管理 産業振興課
評価	<u>「このまま継続」（主管課・内部評価のとおり）</u> 利用者は減少しているが、本町の重要な観光施設であることから、今後も継続すべき。
参考意見	施設も老朽してきており、泉質や休憩所、レストラン等が特徴のない温泉施設になっていることから、特色のある取り組みを行って利用者増につながることを期待したい。

1 1

No. 1 0 5

事務事業名	置戸町観光協会補助金 産業振興課
評 価	<u>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</u> 観光資源を活用した観光客の招致は、本町のPRにもつながるため、継続すべき。
参 考 意 見	過去に行っていた観光客の招致や特産物の取り扱い等、本来、行わなければならない観光振興に力を入れて取り組んでほしい。そのためにも、専任の専門性のある事務局を配置することが必要。

1 2

No. 1 1 6

事務事業名	町道管理 施設整備課
評 価	<u>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</u> 橋梁等の町道管理は、交通路線の通行確保と交通安全に寄与することから継続すべき。
参 考 意 見	通学路における危険箇所等の補修については、特に優先して迅速に対応してほしい。

1 3

No. 1 1 8

事務事業名	置戸町山村留学推進協議会交付金 学校教育課
評 価	<u>「内容を変更し継続(その他:制度・組織等の見直し)」</u> <u>(主管課・内部評価のとおり)</u> 家族で置戸町に住めるよう、保護者の仕事を紹介できるような制度に変えていけるようにしてはどうか。
参 考 意 見	置戸町山村留学推進協議会の構成メンバーに置戸町内の企業の代表者等も加えて、仕事を紹介できる体制にしていくことができるよう考えてほしい。

14

No.180

事務事業名	家族介護継続支援事業 地域福祉センター
評価	<u>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</u> 在宅介護の精神的、経済的負担を軽減するためにも、介護保険の給付対象外である支援を継続すべき。
参考意見	実利用者数は2名であるが、今後も高齢化により利用者の増加が見込まれるため、適切に対応してほしい。

15

No.193

事務事業名	旧学校敷地環境整備交付金 学校教育課
評価	<u>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</u> 旧学校敷地の周辺環境整備を行うために必要な交付金であることから、このまま継続すべき。
参考意見	今後、境野地区だけが旧学校敷地環境整備交付金として残ることになるため、旧校舎を含む学校跡地の活用について、早期に方向性を見出してほしい。

16

No.205

事務事業名	郷土資料館管理運営 社会教育課
評価	<u>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</u> 本町の郷土資料を保存していくことは、置戸の歴史を後世に伝えていくためにも重要な責務であることから継続すべき。
参考意見	定例町議会の答弁で第5次総合計画の後期計画及び第10次社会教育計画の策定の中で、慎重に検討していくとあるため、今後の動向を見守る。

17

No. 214

事務事業名	ふるさと交流推進協議会交付金 社会教育課
評価	<u>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</u> 参加者にとって、ホームステイ等の貴重な体験ができる機会であり、今後も継続すべき。
参考意見	本町単独で実施する事業でないため、多摩市永山地区の事業体制やホームステイ受入先の選定等、事業の取り組みが大変難しいようであるが、事業継続への工夫や努力を続けているとあり、今後の動向を見守る。

18

No. 225

事務事業名	健康と長寿を祝う集い 社会教育課
評価	<u>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</u> 地域の発展に寄与していただいた高齢者に感謝し敬愛するため、一同に会しふれあう地域行事の場として継続すべき。
参考意見	所管の見直しが必要との課題であるが、事業の目的を明確にした上で議論すべき。また、過去に1か所で実施し不評だったことを考えると、所管が変わっても各地区公民館が主体となって実施しなければならないと思われることから、このまま継続を望む。

19

No. 234

事務事業名	ファミリースポーツセンター管理運営 社会教育課
評価	<u>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</u> 町民のスポーツ振興と健康増進の拠点施設として、今後も継続すべき。
参考意見	本体施設はこのまま継続すべきであるが、ファミリースポーツセンター前の簡易トイレについて、町民等から水洗化の要望がある。汲み取り式のトイレ特有の問題から利用したくないという声もあり、清潔感のある水洗化を望む。 また、この他にも町や教育委員会の管理で水洗化されていないトイレがあることから、同様に水洗化を望む。

事務事業名	置戸町スポーツ少年団協議会補助金 社会教育課
主管課評価	<p><u>「このまま継続」</u></p> <p>各スポーツ少年団が会員減少と指導者が不足する中で、それぞれが努力と工夫をしながら活動を継続しており、子ども達の健全育成とスポーツの振興には欠かせない活動である。したがって、このまま継続して補助金を交付すべきである。</p> <p>平成20年度から始めた協議会主催の体力テストを本年度も実施したが、データの蓄積、活用を視野に入れて今後も継続が望まれる。また、社会体育の振興のために、町内の退職者等の活用など指導者の養成・確保は、養成を打診してきたが確保するまでは至らず、今後も粘り強く要請したい。</p> <p>また、前年度の外部評価で指摘のあった団員減少による費用負担増にかかる支援については、スポーツ少年団協議会との協議において各少年団とも現行の町補助金を含めた全体予算の中で適切に運営されていることを確認したことから、特段の事情が生じなければ補助金については現状維持とする。</p>
内部評価	<p><u>「このまま継続」</u></p> <p>主管課評価に同じ</p>
外部評価	<p><u>「内容を変更し継続（予算・事業内容：拡大）」</u></p> <p>会員減少や指導者不足による活動の継続性に課題があることから、指導者に対する補償やスクールバスの活用等の支援策について検討すべき。</p>
理由	<p>各スポーツ少年団の指導者は、無償ボランティアで行っており、仕事の都合等により指導時間が限られるため、退職者等による有償ボランティアを募ってはどうか。</p> <p>また、遠征等でバスを借り上げて移動しているようであり、少年団の負担軽減を図るためにも、スクールバスを使えるような取り組みを進めてほしい。</p>

2 1

No. 2 2 6

事務事業名	学校支援地域本部事業 社会教育課
評 価	<u>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</u> 学校と地域との連携や地域に根ざした人材の活用を基本とした学校支援体制は今後も継続すべき。
参 考 意 見	児童・生徒に対する教育の支援は、学校教育の充実や地域の連帯感の育成を図り、地域の教育力を向上するためにも継続すべき。

2 2

No. 2 3 0

事務事業名	各種スポーツ教室 社会教育課
評 価	<u>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</u> 町民のスポーツ振興や健康増進を図るため継続すべき。
参 考 意 見	スポーツ少年団及び中学校部活動の競技力向上支援について、時期外れに開催されていることがあることから、適時開催を望む。また、対応が難しいかも知れないが、幼児向けの教室を実施してほしい。

2 3

No. 2 4 3

事務事業名	オケクラフト流通普及協会貸付金 森林工芸館
評 価	<u>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</u> オケクラフト流通普及協会の運営上、必要な資金であるため継続すべき。
参 考 意 見	主管課評価で流通普及協会、貸付金のあり方について検討していくとあるため、今後の動向を見守る。

24

No.248

事務事業名	秋岡コレクションの活用 森林工芸館
評価	<u>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</u> 手仕事道具や遊山弁当等の貴重な秋岡資料は、オケクラフトとともに優れた日本の木工技術を後世に伝えるためにも継続すべき。
参考意見	本町のみならず、日本の手仕事道具として貴重な資料であることから、「日本の手仕事道具集-秋岡コレクション」の発刊とあわせて継続すべき。

■ 評価以外に特に内容を知りたいものとして、資料提出や説明等を行った事業

1

No.036

事務事業名	公衆便所管理(北光パーキング) 町民生活課
参考意見	平成18年度の行政評価委員会(外部評価)から意見されているが、鉄道記念公園の整備構想から一向に対応されていない状況である。市街地の入口付近であり、利用者も多いことから早期の水洗化を望む。なお、今年度中に整備構想の方向性が示される予定であるとのことから、今後の動向を見守る。

2

No.-

事務事業名	防災対策 町づくり企画課
参考意見	昨年度の停電や近年の土砂災害等により、町民の防災意識は高まっている。今後、地域防災計画を全面修正し、防災メールシステムや非常用備蓄の整備等を進めていくとのことで、万が一に対応できるよう速やかに進めてほしい。

置戸町行政評価委員会委員

任 期：平成26年4月1日～平成28年3月31日

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
委 員 長	岩 崎 靖	副 委 員 長	高 階 久美子
委 員	小野垣 裕 樹	委 員	梶 原 成 美
委 員	廣 瀬 望	委 員	道 原 里 枝
委 員	宮 嶋 晶 子		